

讃美歌 291

信仰告白 ウエストミンスター信仰告白 13：1、16：2, 3

聖書 列王記記上3章1～28節(p531)

祈祷

獎励 「ソロモンに与えられた知恵」

祈祷

讃美歌 301

懇談

祈祷会

主の祈り

ウェストミンスター信仰告白 第13章 聖化について

1. 有効に召命され、再生させられた者たちは、自らのうちに、新しい心と新しい靈を創造されているが、さらに、キリストの死と復活の力をとおして、かれらのうちに宿るキリストの言葉と靈により、現実に、また個人的に、聖とされる。すなわち、全身にわたる罪の支配は破壊され、罪のさまざまな欲望はますます弱められ、力をそがれていき、そしてかれらは、それなしにはだれも主を見ることができない、真の聖性(せいせい)を実践できるように、救いにかかる恵みの賜物すべてにおいて、ますます生きられ、強められていく。

第16章 善い行いについて

2. 神の戒めに服従してなされるこのような善い行いは、真の、生きた信仰の実りであり、証拠である。そして善い行いによって信者は、かれらの感謝を表し、かれらの確信を強め、かれらの兄弟たちを建て上げ、福音の公的告白を美しく飾り、敵対者の口を封じ、神に栄光を帰す。信者は、そうするようにイエス・キリストにおいて造られた、神の作品だからである。かくして信者は、清さにいたる実を結んで、目的である永遠の命を得ることができる。

3. 善い行いをする信者の能力は、決してかれら自身によるものではなく、まったくキリストの靈によるものである。また、かれらが善い行いができるようになるためには、かれらがすでに受けているさまざまな恵みの賜物のほかに、かれらのうちに働き、御自身がよしとされることを望み、行うようにさせる、同じ聖靈の実際の働きかけが必要とされる。しかしここで信者は、御靈の特別な導きがなければ、いかなる義務も果たさなくてよいかのように、怠惰になってはならず、むしろ、自分たちのうちにある神の恵みをかきたてることに熱心であるべきである。